



～学校だより～

教育目標： 自学 共生 自立

～コロナ禍の中での学校教育を振り返って～

今年の春から12月までの本校の教育活動を振り返ってみます。3週にわたって、今年の郡山五中のあゆみを振り返ります。第1週は春から夏にかけて振り返ります。

1 全国一斉臨時休業



5月11日分散登校初日

2月末の内閣総理大臣からの要請で、3月から全国的に学校が臨時休業となりました。本市では、3月3日～3月23日まで1回目の臨時休業、翌日から春休みが2週間続き、実質的には3月3日～4月5日まで1か月間、子どもたちは登校できず、部活動もできない状態で自宅から出ずに我慢を強いられました。4月6日～4月20日までの2週間、一時的に学校が再開したものの、4月21日～5月24日まで2回目の臨時休業。コロナ感染の心配や学習の遅れ、体力の低下が懸念されました。この間、学級担任は定期的に各家庭に電話をして、生徒の健康状態や学習状況の確認を継続しました。5月11日からの分散登校を経て、5月25日から学校が再開し、6月8日から学校での部活動が段階的に再開しました。「3密の回避」を繰り返し生徒に指導し、各家庭にもご協力をいただきました。

2 令和2年3月13日の卒業式

昨年度の3月の卒業式をどのように開催するか、教職員と何度も話し合った結果、卒業生、卒業生の保護者、教職員だけで卒業生を送り出すという異例の卒業式を行いました。在校生とご来賓の出席はなしでした。卒業生の見送りは校舎内だけで行いました。それでも令和元年度の卒業生は元気に本校を巣立っていきました。

3 令和2年4月6日の入学式

前日まで小学校も中学校も実質的に臨時休業。そのような中での入学式。本校の教職員も多少不安を抱えた中での令和2年度の入学式。新入生とその保護者、教職員だけで入学式を行いました。2・3年生の在校生は出席できず、入学式での校歌斉唱もありませんでした。新入生代表茂木大輝くんの堂々とした誓いの言葉は今でも心に残っています。



入学式翌日の桜の木の下で

4 定期健康診断ができない

例年ですと、4月当初に実施する全校生徒の内科検診や歯科検診。これも年度当初にできず、養護教諭（保健の先生）が学校医等との連絡調整に奔走しました。検診が実施できたのは、6月末から7月にかけてでした。

5 教職員で校舎内の消毒作業

春から夏にかけては、教職員が計画的に全教室の消毒作業を行いました。これは、たいへんな作業でしたが、生徒の感染リスクを低減させるために必死になって行いました。その後、8月からスクール・サポート・スタッフが学校に配置され、この業務を担ってくれました。教職員は子どもたちに向き合う時間ができました。



教職員全員で放課後全教室の消毒作業